

## 患者体験調査及び未設定の数値目標について

疾病・感染症対策課  
R8.3.12

## 1 調査目的

- ・国計画(令和5年度～令和10年度)の評価と改善につなげることを目指し、がん患者を対象とした診療体験や療養生活の実態調査。平成26年と令和元年に続く3回目の実施。
- ・回答項目が「総合的な医療の質」、「診断・治療のタイミング」、「受診先の選択・治療前および治療中の情報取得」、「社会とのつながり」、「相談支援」、「社会的状況」、「就労」等の13分類に分かれている。
- ・患者体験調査結果が国計画の「中間評価指標」の一部として、計画の進捗確認や第5期国計画(令和11年度～令和16年度)の設計に反映される。



長野県でも患者体験調査結果を県計画の評価指標として活用し施策の改善に努める。

## 2 調査概要

調査時期 : 2023年12月～2024年1月

対象者 : 令和3年にがんと診断された18歳以上の患者

調査送付数 : 32,716件

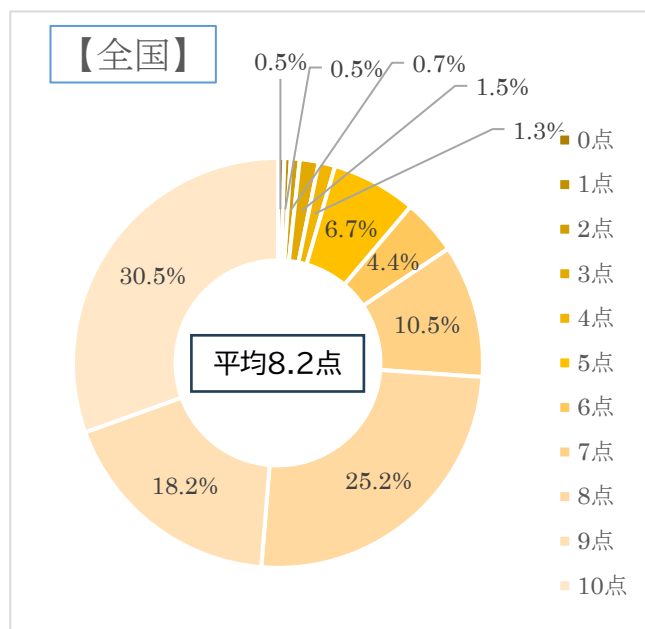
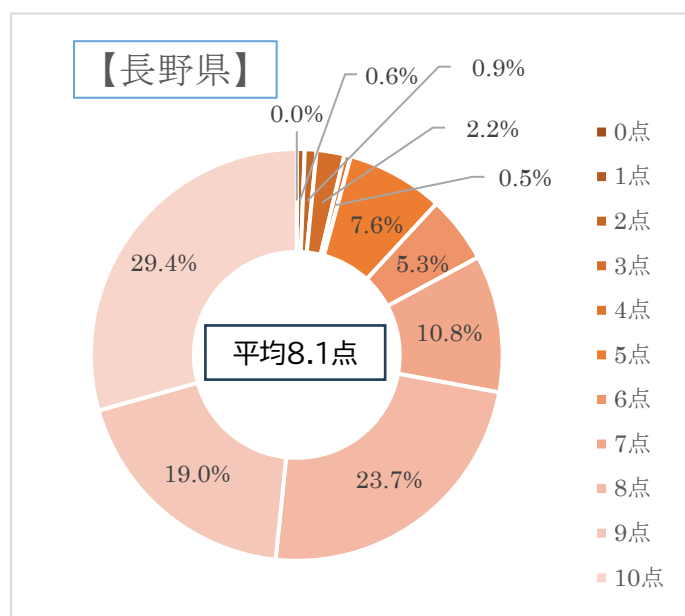
有効回答数 : 11,169件(回答率45.2%)

## 3 結果概要

※青色網掛け…県目標未設定、黄色網掛け…全国結果と長野県結果を比較し優位な値

分類	質問(一部)	長野県	全国	備考
総合的な医療の質	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人	82.5%	79.0%	長野県 全国9位
	がんの診断・治療全般に関する総合的な評価の平均点(0-10点)	8.1点	8.2点	長野県 全国24位

がんの診断・治療全般に関する総合的な評価の平均点



分類	質問（一部）	長野県	全国	備考
治療前および治療中の情報取得 受診先の選択・	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた人	92.4%	88.5%	
	治療開始前に、担当医からセカンドオピニオンについて話があった人	39.9%	31.7%	
	治療開始前に、妊孕性への影響に関して医師から説明があった人	68.0%	71.5%	40歳未満対象
	治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた人	91.3%	91.5%	
	治療による副作用の予測などに関し見通しを持てた人	73.2%	75.5%	
医療者とのコミュニケーション ニケーション	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	28.8%	34.0%	長野県 全国9位
	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	24.2%	26.2%	長野県 全国9位
社会とのつながり	がんになったことで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じる人	50.1%	57.7%	
	がんになったことで、家族以外の周囲の人に負担(迷惑)をかけていると感じる人	27.1%	30.3%	
	がんを診断されてから周囲に不必要に気を使われていると感じる人	14.4%	23.2%	
	(家族以外の) 周囲の人からがんに対する偏見を感じる人	6.0%	7.4%	
相談支援	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う人	49.4%	44.1%	長野県 全国9位
	がん相談支援センターを知っている人	61.9%	55.1%	
	ピア・サポートを知っている人	17.3%	15.4%	
就労	治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者割合	62.5%	70.6%	長野県 全国43位
	診断時に働いていた職場や仕事上の関係者にがんを診断されたことを話した人	83.6%	89.0%	診断時就業者
	職場や仕事上の関係者から治療と仕事を両方続けられるような勤務上の配慮があったと思う人	74.7%	74.5%	〃
	治療開始前に就労の継続について医療スタッフから話があった人	39.6%	44.0%	〃